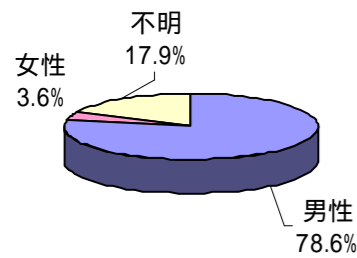
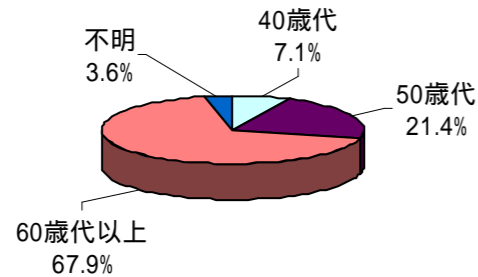


参加者アンケート結果： 回答数 28 名

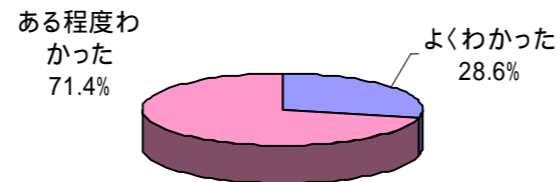
性別



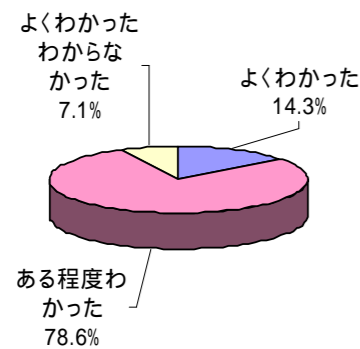
世代



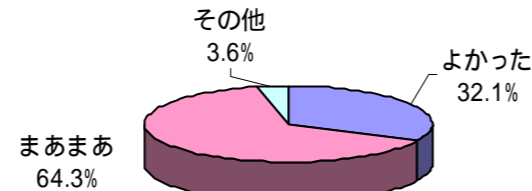
地域コミュニティ基本構想への理解



山家地区の取り組みの把握



グループ内の議論は



自由意見(一部抜粋)

- ・住民参加の町づくりが出来、安心して住める山家をつくっていききたい。
- ・無関心層をどうやって興味を持たせ参加してもらえるのか、PR 活動等を含めて考えていかねばならないと思う。小学生、中学生も参加して話し合いができればいいと思う。
- ・是非、便利屋さんを作って欲しい。医師、八百屋、床屋さんなど家庭訪問してもらえる方を望む。
- ・住民アンケートのあり方を考えて欲しい。
- ・会議において、初めて発言できた。
- ・いまだ先の取組みが分からない。
- ・参加人員をもっと増やしてたくさんの意見を聞いてみたいと思う。
- ・区の集会でも呼びかけたが参加がなかった。
- ・全体としても代表者会の参加者より少なく残念だった。
- ・参加者が少ないので、今後は多数参加されるようにしなくてはならないと思う。
- ・自由参加では出席者は少ないと思う。
- ・今後の開催案内の方法は一考を要する。

「山家地区コミュニティ形成」に関するお問い合わせ先

筑紫野市役所 総務部まちづくり支援課 担当 (平田、牛島)

TEL (092) 923-1111 FAX (092) 929-0481

山家地区コミュニティ形成 報告会&まちづくりワークショップニュース

第1回ワークショップ開催！！

筑紫野市は、平成 21 年 3 月に「地域コミュニティ基本構想」をまとめ、小学校区を基本単位とするまちづくりを進めており、平成 22 年 5 月から山家地区において、市内のコミュニティ形成のモデル地区として話し合いを行ってきました。

平成 22 年 11 月 16 日(火)に山家コミュニティセンターにおいて、報告会を開催しました。報告会の第 1 部では、これまでの山家のコミュニティ形成に向けた取り組みを報告し、山家地区全戸へ配布したまちづくりに関するアンケート調査の中間報告を行いました。そして第 2 部では、これからの山家地区のまちづくり計画をたてるために、山家の課題は何なのかをワークショップ形式で議論しました。



まちづくりワークショップの構成

第1回ワークショップ
平成 22 年 11 月 16 日(火)
・現状と課題

今回

第2回ワークショップ
平成 22 年 1 月下旬(予定)
・目標づくり

第3回ワークショップ
平成 22 年 2 月下旬(予定)
・取り組み

ワークショップとは
作業場、工房を意味し、様々な立場の人が集まり、対話と共同作業を通して総意を形成する参加型の会議手法です。

プログラム

- 開会
- 【第1部 報告会】
- 地域コミュニティ基本構想の説明
- 山家地区の取り組みの説明
- アンケート結果中間報告
- 【第2部 まちづくりワークショップ】
- 山家地区の現状を知る
- まとめ
- 閉会

山家の課題の共有

山家の課題について「自然・環境、生活基盤、文化歴史、安心・安全、子ども育成、福祉」の6つのテーマを設定し、特に重要である3つを選んで、その理由を説明しました。そして班の中で重要性の順位付けをしました。

これらの作業を通じて、山家がまちづくりを進めていく上での課題を確認しました。



	1班	2班	3班	4班	5班
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄の防止等 産業廃棄物処理 子ども 	<ul style="list-style-type: none"> 産廃業者の排除 水、地下水を守る 	<ul style="list-style-type: none"> ポイ捨てをなくす 山家の川、谷、にホタルの乱舞を 農地を団地に転用し、川をその中に引き、ホタルを飛ばす（ビオトープの住宅づくり） 産業廃棄物の投棄 	<ul style="list-style-type: none"> きれいな水の保存 企業の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 小さい頃から親しんできた自然環境を壊されたくない 自然を大事にしてほしい 自然を活かした生活空間をつかって欲しい
生活基盤	<ul style="list-style-type: none"> まず現在近い将来の生活 交通機関、歩道 インフラ整備 	<ul style="list-style-type: none"> 買物がすぐ近くでできること 生活必需品。特に食生活に必要な品が揃う店が欲しい 医療機関の設置 税金問題 交通の充実（バスなど） 交通アクセス問題 	<ul style="list-style-type: none"> 生活を確保することで、山家を好きになる 交通アクセス（買物等） 住宅を増やし、児童を増加、コミュニティバス 山家に道の駅をつくり、文化、商業施設、農業等を発展させる。雇用もつくる 水道 病院やスーパーなどが身近に必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口増加による地域の活性化 交通体系の整備 お店 医療や生活用品 便利屋さん 	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすい環境 安心安全を強力に取り組んで欲しい 便利な生活
文化歴史	<ul style="list-style-type: none"> 歴史を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 山家宿の史跡を残す 	<ul style="list-style-type: none"> 山家の歴史を残す 宿場町等の歴史文化遺跡を保存整備 道の駅の中に茶屋本陣を復元し、歴史、文化の紹介 神楽も週1回やる 地域を誇れること 	<ul style="list-style-type: none"> 後継者 	<ul style="list-style-type: none"> アイデンティティーの確立 昔の頃の思い起こし
安心安全	<ul style="list-style-type: none"> 道路（歩道）整備 自然環境の対応 川対策 住みよい環境作り 住める 通学路の安全 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故（車社会） 交通の便 通学路の問題 通学路及び交通路 	<ul style="list-style-type: none"> 交通機関 山が多く災害防止対策も必要 交通対策 	<ul style="list-style-type: none"> 住環境の向上により生活の安心を図る。（防犯、防災） 交通、近所の声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> 災害ないように 防災
子ども育成	<ul style="list-style-type: none"> 教育 子育て支援対策、学校支援 地域との協力 民生員、福祉委、各組レベル 山家の将来を支える人達を育む 公園 	<ul style="list-style-type: none"> 少子化問題 子どもが減少していることから減少を食い止め、増加させる 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊べる場所 子どもが少なくなっている。 人材育成が大事 山家を自慢できるようになってほしい 教育の件、中学、高校の通学不便 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子どもを育てられる地域 子育て出来る環境 子育て家庭への支援 地域で生きる子どもを育てる 幼稚園の時間延長 若者が住みたくなる町 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、小学校の充実 住宅政策 人口増になるように 安心安全 環境整備の充実（イジメ）
福祉	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉 老人福祉 地域との協力（隣組レベル） 年寄りにゆとり 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のみ世帯の増加 見回りや話し相手 高齢者対策に力を。 見守り活動が必要 		<ul style="list-style-type: none"> 老人に目のとどく環境 公民館など集まる場所 地域ぐるみで介護に取り組む 近所に目配りができる環境を！ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域世代間交流 高齢化に対する不安 お年寄りが安心して生活出来るようにする 高齢家族の安定 医療、交通の整備

各班において重要度が高いテーマの枠線を太くしている。